PSW-1067J(13040)

施工説明書

# アンダーカウンター洗面器

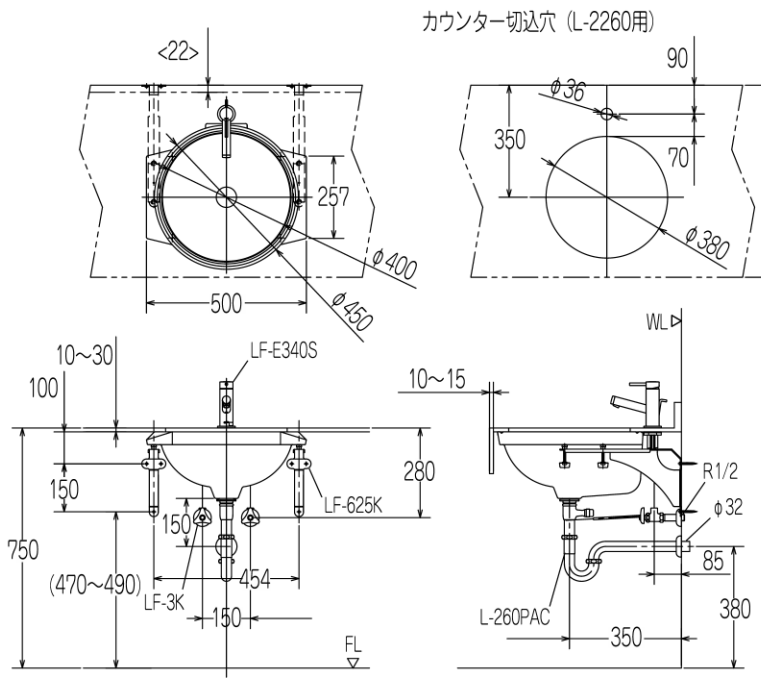
L-2260

商品の機能が100%発揮されるよう、
本説明書の内容を十分ご理解のうえ
正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を
お客さまにお渡しください。

## ●施工完了図

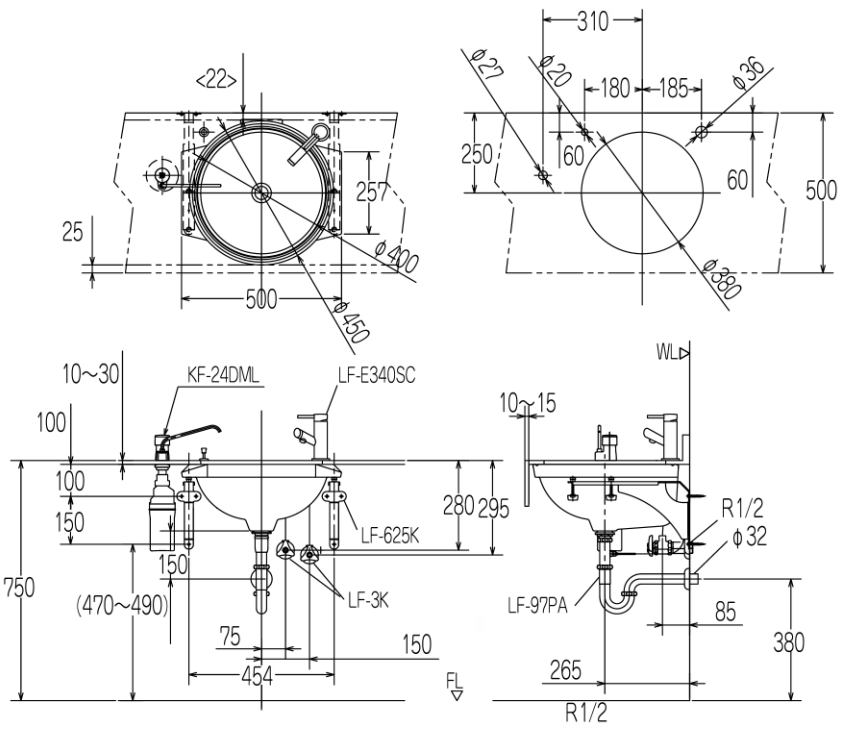
### 【壁排水・壁給水】

#### 【奥行き600mm用】




※ <>内寸法はカウンター寸法
※ カウンターに接する洗面器全周面にメジシールを充てんする。

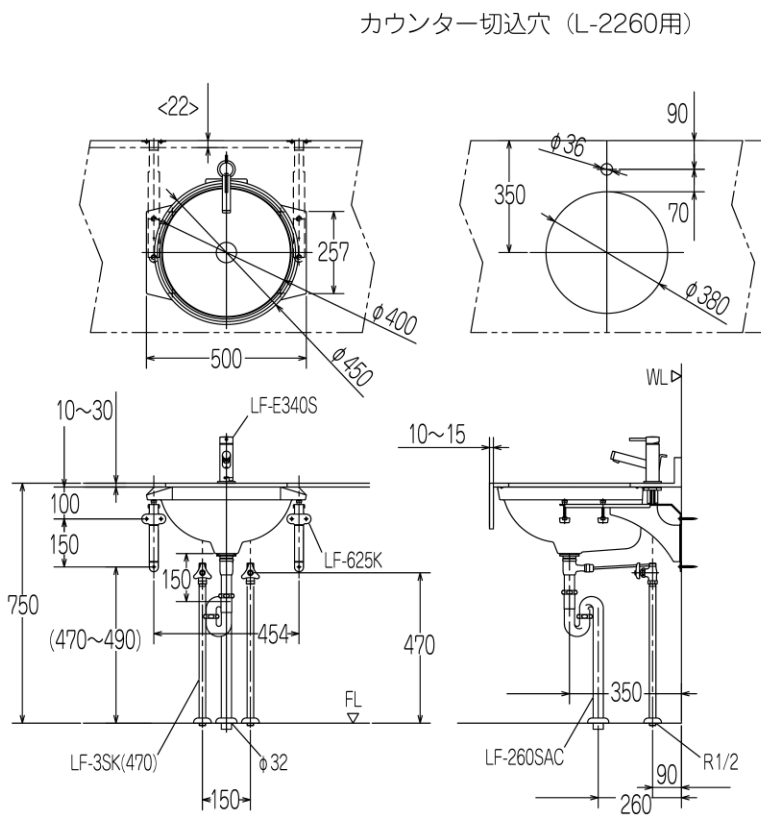
#### 【奥行き500mm用】




※ <>内寸法はカウンター寸法
※ カウンターに接する洗面器全周面にメジシールを充てんする。

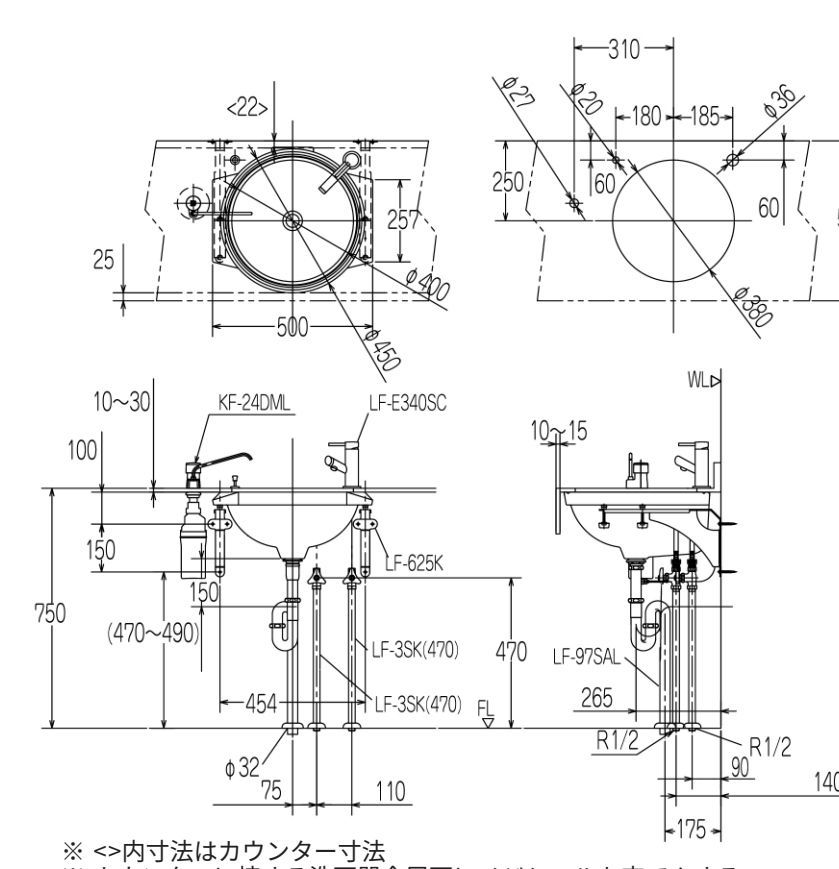
### 【床排水・床給水】

#### 【奥行き600mm用】




※ <>内寸法はカウンター寸法
※ カウンターに接する洗面器全周面にメジシールを充てんする。

#### 【奥行き500mm用】



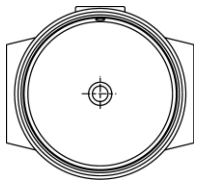
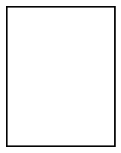

※ <>内寸法はカウンター寸法
※ カウンターに接する洗面器全周面にメジシールを充てんする。


株式会社 LIXIL

●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センターまで
ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間　平日　9:00～18:00
土日・祝日　9:00～17:00
（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

# ●梱包内訳

| | | | |
|---|---|---|---|
| 洗面器 |  | 施工説明書 |  |

# ●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工終了後、正常に作動することを確認するとともに、お客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書はお客さまで保管頂くよう依頼してください。

## 用語の解説

**注意** ・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

## 記号の解説

⚠ …「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

禁止 … この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。

指示実行 … この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。

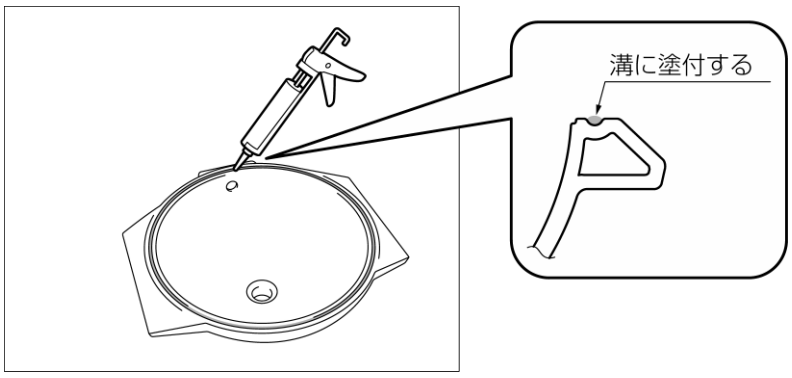
## ⚠ 注意

| | |
|---|---|
| 施工前に輸送中の破損がないことを確かめる。<br>施工後に施工段階での破損がないことを確かめる。<br>※破損部でケガをしたり、漏水により家財等を濡らす恐れがあります。 | (指示) |
| 陶器に対するねじは締めすぎない。<br>※陶器が割れてケガをする恐れがあります。 | (禁止) |
| 施工後に漏水検査を必ず行う。<br>※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。 | (指示) |
| 陶器に熱湯を注がない。<br>※陶器が破損してケガをしたり、漏水のため家具を汚す原因になることがあります。 | (禁止) |
| 陶器に硬いものを落とさない。<br>※陶器が破損してケガをしたり、水漏れのため家財を濡らす原因になることがあります。 | (禁止) |
| 陶器にひびが入ったり、割れた場合、破損部を素手で触らない。<br>※破損部でケガをする恐れがあります。 | (禁止) |
| 陶器にひびが入ったままで使用しない。<br>※破損部でケガをする恐れがあります。 | (禁止) |
| 施工作業は必ず２人以上で実施してください。 | (指示) |

# ●施工方法

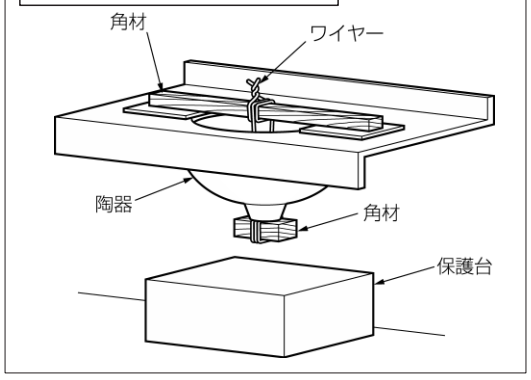
## 1. 洗面器の仮固定

洗面器上面の溝にシール材を塗付します。

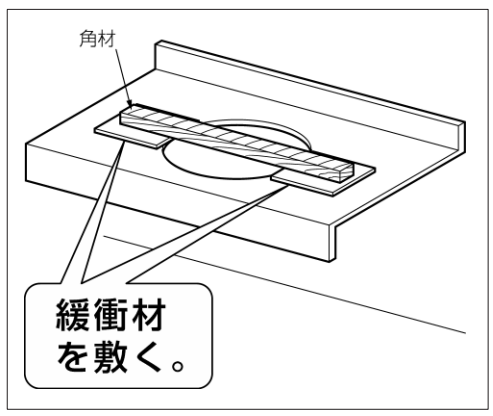



## 2. カウンターへの仮固定

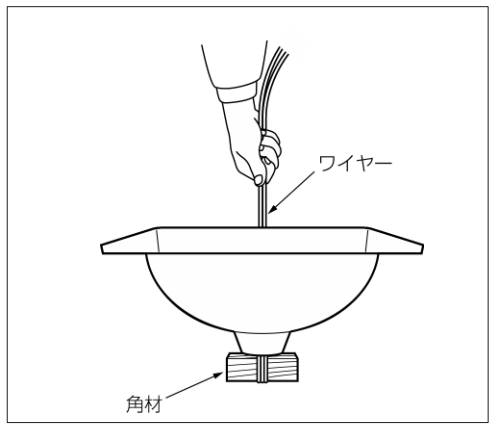
①～⑤までの施工参考図



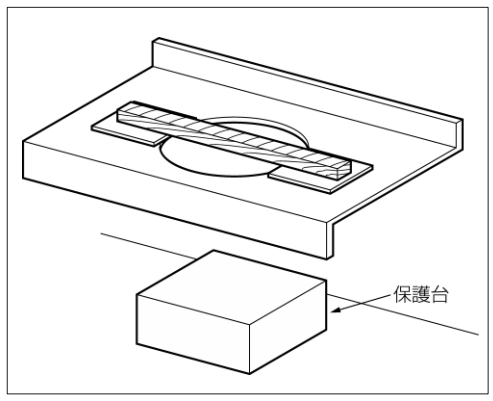

①カウンター上面に角材を置きます。
＊カウンターにキズが付かないように角材の下に緩衝材を敷いてください。
＊陶器の自重は約9kgあります。角材は充分強度の有る物をご使用ください。



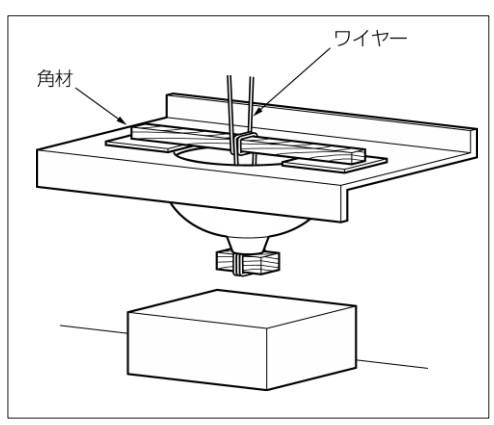

②排水口下端に角材付きワイヤーを挿入して引っ張ります。
＊陶器の自重は約9kgあります。
＊陶器が落下しないようにワイヤーは充分強度の有る物をご使用ください。
＊排水口から角材が抜けないようにご確認ください。
陶器が落下する危険が有ります。




＊必要に応じて洗面器の下に保護台を置いてください。

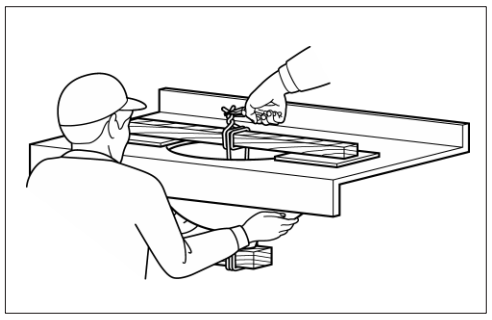



③カウンター下面から角材にワイヤーを掛けます。



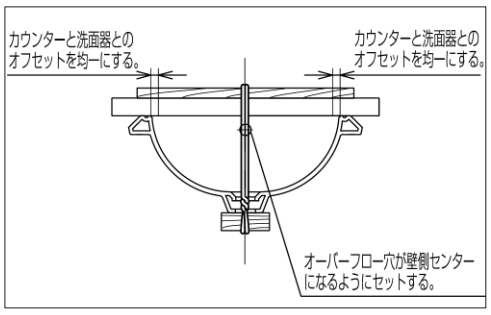
# ●施工方法

＊必要に応じて二人で作業してください。
＊カウンターと洗面器とのオフセットを均一にしてください。

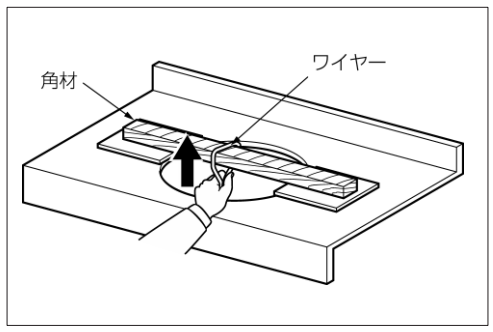


④カウンター切り欠きのオフセット幅が洗面器と均等になるように洗面器をカウンターに押し当て支えておいてください。

洗面器を支えながらの作業になりますので２人作業か洗面器の下に台等を現場で用意していただき洗面器の下に敷くと作業が楽になります。

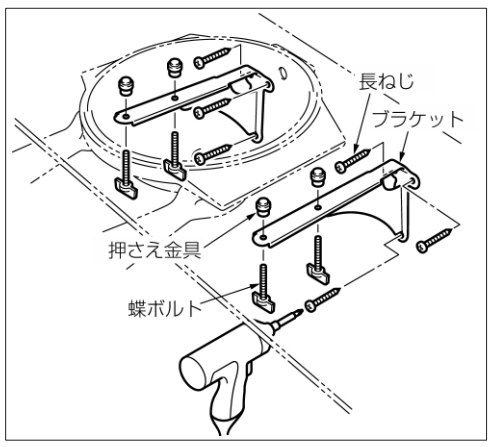



⑤洗面器上面とカウンター下面がピッタリ付くまでワイヤーを引っ張ってください。
＊陶器が落下しないようにワイヤーを角材にしばり付けてください。




## 3. ブラケットの取付け

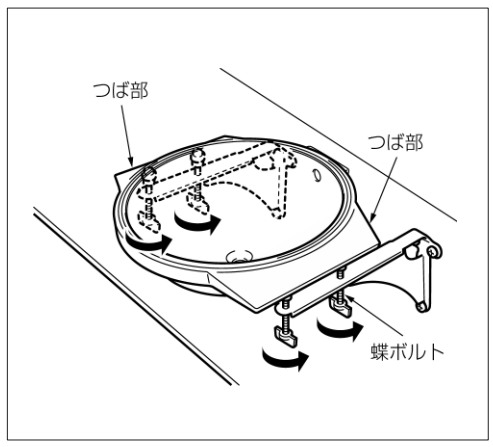
①洗面器をカウンターに仮固定した状態で洗面器ブラケットを規定の位置に固定します。




②ワイヤーと角材を外します。

## 4. ブラケットの固定

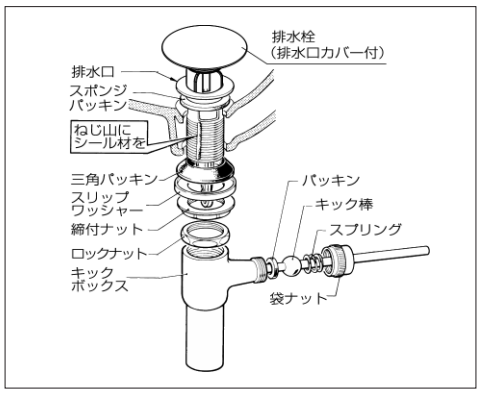
洗面器横のツバ部がブラケットにのっていることを確認後、ブラケット用の蝶ボルトを回して洗面器をカウンターに締め付けます。
＊洗面器鉢内にはみ出したシール剤はきれいにふき取ってください。




## 5. 洗面器排水金具の取付け

**排水金具の締付け**

①排水口のツバ下パッキンには、単泡スポンジパッキンが使用してあります。しかし、ねじ山をつたって漏水することが考えられますので図のようにシールしてください。上部にスポンジパッキン、下部に三角パッキンをはめて締め付けてください。この際締めすぎにならないよう注意してください。




②排水栓が「閉」状態の時にキック棒が水平に差し込まれるまで、キックボックスをねじ込み、ロックナットでキックボックスをしっかりと固定してください。

**注意**

**三角パッキンについたシール材が変色することがあります。**

**注意**

**シール材を必ず使用してください。カウンターに施工する場合は排水口と引棒台座を先に取り付けてください。**

**ポイント**

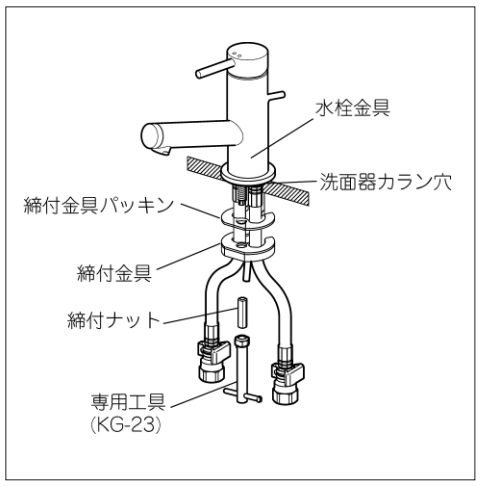
**排水栓に社名表示がある場合は、社名が手前に向くように取り付けてください。**

## 6. 水栓金具の取付け

※水栓金具の取付けは、各々の水栓金具に同梱の取付説明書をご覧ください。
※施工中、本体を倒さないでください。鉢などが破損してケガをする恐れがあります。

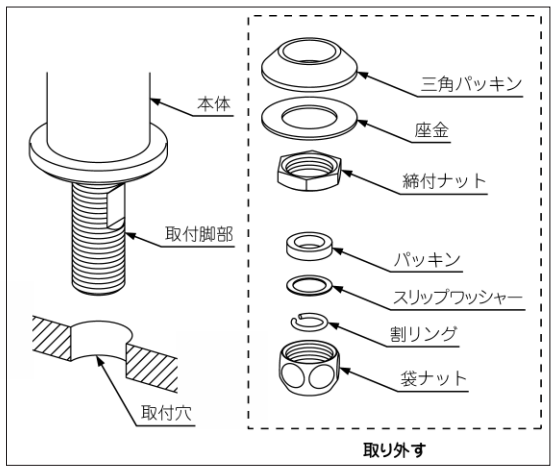
**●シングルレバー混合水栓の場合**

①水栓金具を洗面器カラン穴に挿入します。
②締付ナットは、別売りの専用工具（KG-23)もしくは市販のソケットレンチ(呼び13)を用いて固定してください。



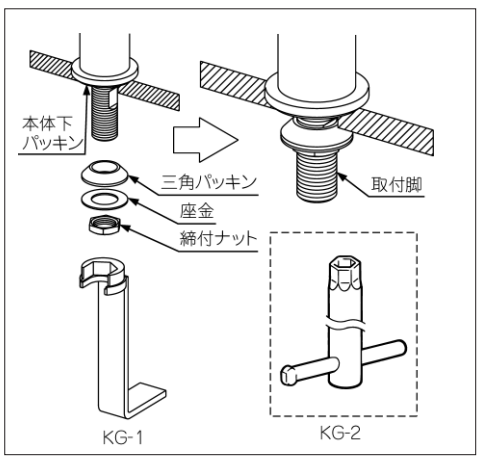

**●シングルレバー単水栓の場合**

①水栓本体の取付脚部に付いている部品を全て外し、本体を取付穴に挿入します。




②吐水口の向きに注意し、専用工具で三角パッキン、平座金、締付ナットをしっかりと固定します。

③締付ナットは、別売りの専用工具（KG-1もしくは、KG-2)を使用してください。

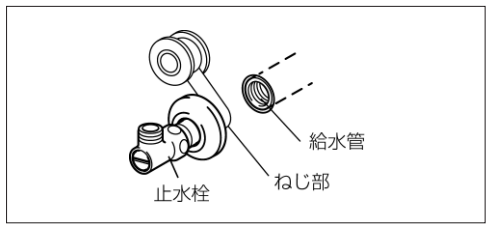



**●取付け詳細は各々の水栓金具に同梱の取扱説明書をご覧ください。**

## 7. 止水栓の取付け

壁面（床面）の給水管に止水栓（別売品）を取り付けます。

＊ねじ部にシールテープ等のシール材を巻き付けてねじ込んでください。

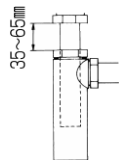



## 8-1. 排水管の接続（ボトルトラップの場合）

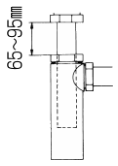
排水管の接続を行ってください。

**［ボトルトラップ封水深の確認］**

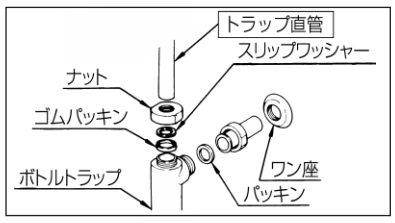
**【LF-706PACの場合】**




**【LF-708PACの場合】**




**［ボトルトラップの取付け］**




**注 意**

**●トラップ直管は、絶対に切らないでください。**
**●上図の寸法はLF-706PACの場合35～65mm、LF-708PACの場合65～95mmになっていることを必ず確認してください。（この寸法範囲外の場合、正常な排水ができません。）**
**●ワン座のOリングがはみ出ないように注意しながら排水管に入れてください。**

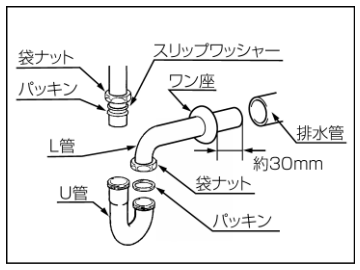
## 8-2. 排水管の接続（Sトラップ、Pトラップの場合）

排水トラップを仮付けして、L管またはS管を排水管との差込みしろを約30mm残して切断してください。

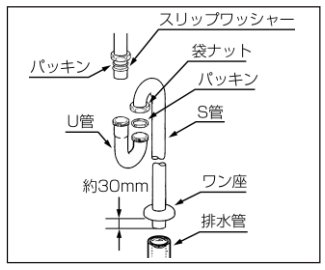
**注 意**

**トラップは施工完了図のように、右向きになるようにしてください。**

**〈Pトラップの場合〉**




**〈Sトラップの場合〉**



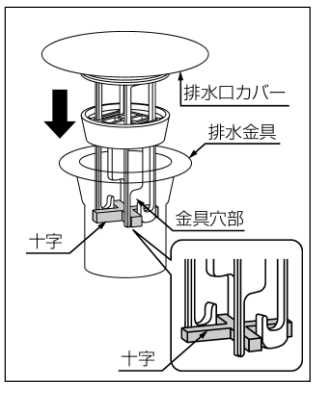

## 9. 排水口カバーの取付け方法

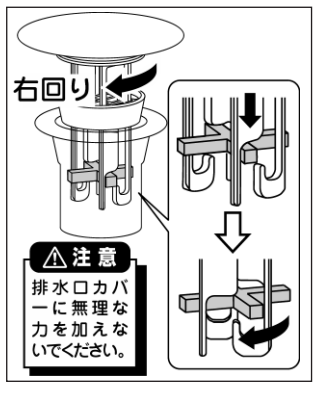
**（ポップアップ式、または排水口カバーなしタイプの場合は不要です。）**

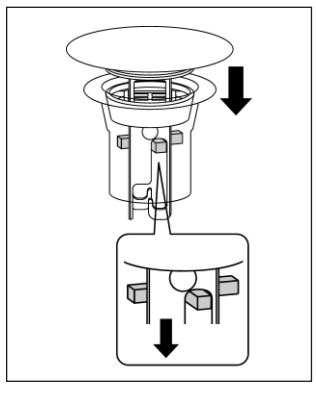
①排水口カバーの金具穴部を排水金具の十字の中へ挿入します。

②排水口カバーを右回りにゆっくりと回転させます。

③排水口カバーを下に降ろして取付け完了です。



# ●引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。
※エコダイアルは、通常吐出状態で引渡してください。
※この商品は、水を急に止めるときに発生する配管への衝撃をやわらげる機能が付いています。このため急に閉めようとするとハンドルが重く感じることがありますが故障ではありません。ハンドルが重くならないように、ゆっくりと閉めてください。

## ●故障と点検

| | | |
|---|---|---|
| 流量が少ない | 圧力は十分か？ | 「使用条件」の項参照。 |
| | 配管途中に大きな抵抗はないか？ | 抵抗となる障害物を取り除く。 |
| | 止水栓は十分開いているか？ | 止水栓を十分開く。 |
| | エコダイアルは、通常吐出状態になっているか？ | エコダイアルを通常吐出状態にする。 |
| | 整流ユニットのゴミ詰まりはないか？ | ゴミ等を水で洗い流す。 |
| 水が止まらない | ゴミかみはないか？ | ゴミ等を水で洗い流す。 |
| | キズはないか？ | キズがあれば部品を交換する。 |
| | ゆるみはないか？ | カートリッジ固定ナットを締める。締め過ぎるとレバーハンドルが重くなることがありますので注意してください。 |
| 希望の温度が得られない | 圧力は十分か？ | 「使用条件」の項参照。 |
| | 流量調節はよいか？ | 「流量調節」の項参照。 |
| | 整流ユニットのゴミ詰まりはないか？ | ゴミ等を水で洗い流す。 |
| ハンドルがガタつく | ゆるみはないか？ | ハンドル止めビスをしっかりと締める。 |
| 本体がガタつく | ゆるみはないか？ | 締付ナットを締付ける。 |
| 排水栓レバーが重い | 給水・給湯ホースと接触していないか？ | 「施工方法」の項参照。 |